

こども部

こども育成課

課長 西村 宏美

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業
-------	---------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ファミリーサポートセンター運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、多様な子育てニーズに柔軟な対応のできる子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

育児の援助を受けたい方(0~15歳の子どもを育てている方)と育児の援助ができる方が会員となり、会員同士の相互援助により、有料で育児に関する援助活動(子どもの送迎など)を行う活動をサポートする事業。

事務局の受付時間(祝日を除く月~金の午前8時30分~午後5時)以外の時間帯は協力会員による緊急サポート受付を実施している。

- 登録会員数(R2年3月末現在)
 - 依頼会員(育児の援助を受けたい方) 2,750人
 - 協力会員(育児の援助を行いたい方) 196人
 - 依頼協力会員 72人
 - (子育て中で育児の援助を受けることもあるが、育児の援助も行える方)
- 延べ利用件数 3,662件(R元実績)
- 緊急サポート事業登録会員数(R2年3月末現在)
 - 依頼会員 1,343人
 - 協力会員 24人
 - 依頼協力会員 16人
- 緊急サポート受付件数 48件(R元年度実績)

<現状に対する認識>

登録会員数、利用件数ともに増加しており、核家族化が進むなか必要な事業であると認識している。
 ・緊急サポート受付は、受付時間を拡大することによって何かあった時に頼れる事業があるという子育て中の保護者の安心につながっている。
 ・依頼会員数の増加割合に対し、協力会員数の増加割合が低いいため、業務を担う協力会員の拡充に向け、サポーター養成講座や、出張登録の取組みを行っている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	2,000	2,150	2,300	2,450	2,600
実績値	3,090	3,263	3,655	3,662	
達成度	154.5%	151.8%	158.9%	149.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	3,677	3,704	3,468	3,289	3,870
国・県	2,436	2,468	2,272	2,192	2,547
利用者負担金	0	0	0	0	
その他	5	0	0	0	10
一般財源	1,236	1,236	1,196	1,097	1,313
人件費(千円)	5,071	5,059	5,085	5,126	
正規	3,076	3,036	3,020	3,040	
嘱託	1,995	2,023	2,065	2,086	
合計コスト +	8,748	8,763	8,553	8,415	3,870
前年度比	-	100.2%	97.6%	98.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	子育て支援センター運営事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て支援センター運営事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

核家族・共働き家庭が増加する中、身近な地域で、育児の孤立化の防止や就労支援などを行える事業拠点を整備するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 こどもプラザの運営
 主に未就園の子どもとその保護者が気軽に交流できる場を提供し、各種育児講座の開催、育児相談の実施、子育てサークルの支援などを行う。
 実施箇所数 4カ所(筑摩、小宮、南郷、波田)
 開設時間 午前8時30分から午後5時まで
 (筑摩・南郷・波田は月～金曜日、小宮は火～日曜日に開館、祝日、年末年始は休館)
 延べ利用者数 58,143人(R元実績 4館合計)
 育児講座等開催回数 223回(延べ参加組数 4,894組)
 子ども子育て安心ルーム 相談延件数3,949件(R元実績 4館合計)
 H31.4に波田こどもプラザに子育てコンシェルジュを配置し、4館すべてのこどもプラザに子ども子育て安心ルーム設置が完了しました。
 健康づくり課の母子保健コーディネーター、こどもプラザの子育てコンシェルジュ、保育課の保育コンシェルジュが連携して、一人ひとりに寄り添いながら、出産から子育て期の相談業務を実施。

2 地域子育て支援事業補助金
 地域の子育て支援活動の推進と充実を図ることを目的に、地域で子育て支援事業を行う団体及び個人に、補助上限3万円で補助金を交付するもの。
 (補助対象経費は、講師謝礼・消耗品など)
 R元 補助金交付件数 26地区、27件、補助金交付額 733,718円

< 現状に対する認識 >

・こどもプラザ4館に、子ども子育て安心ルームの設置が完了し、身近な場所で一人ひとりに寄り添った相談業務体制が整ったと認識。
 ・核家族化が増加する中、子育ての孤立化を防ぎ、子育ての不安等を解消するための取組みをより一層進めます。
 ・各地域における子育て支援活動を充実させるため、広く周知を行い、実施地区数の拡大を図ります。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	70,000	71,500	73,500	75,000	77,000
実績値	69,445	67,029	63,761	58,143	
達成度	99.2%	93.7%	86.7%	77.5%	-
成果指標(指標名)	子育て支援事業補助事業/実施地区数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	20	21	19	26	
達成度	57.1%	60.0%	54.3%	74.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	11,315	9,423	10,217	9,419	9,790					
国・県	7,018	5,794	5,980	5,789	5,940					
利用者負担金	90	96	77	78	130					
その他										
一般財源	4,207	3,533	4,160	3,552	3,720					
人件費(千円)	38,091	人工	42,804	人工	46,557	人工	50,272	人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,560	0.6		
嘱託	31,350	11	31,790	11	32,450	11	32,780	11		
非常勤特別職	2,127	0.7	6,460	2	9,577	3	12,932	4		
合計コスト +	49,406		52,227		56,774		59,691		9,790	
前年度比	-		105.7%		108.7%		105.1%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	つどいの広場事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み		
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	つどいの広場事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、身近な地域で、子育てしやすい環境づくりと、保護者同士が情報交換や交流できる場を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

未就園の子どもとその保護者が気軽に交流できる場を提供するとともに、各種育児講座の開催、育児相談等を行う。また、平成29年7月から、月に1回父親の育児参加を促すことを目的に、休日つどいの広場を開催

- 実施箇所数 21カ所
- 開設時間 午前9時から午後2時まで(月~金曜日)
(「なんぶすくすく」は、午前9時から午後5時まで)
- 延べ利用者数 86,704人(R元実績 21カ所合計)
- 休日つどいの広場
 - 実施場所 1カ所 「なんぶすくすく」(芳川児童センター内)
 - 開設時間 午前9時から午後2時(月に1回 日曜日)
令和2年3月は新型コロナウイルスの影響で中止
 - 延べ利用者数 650人(R元実績 11回合計)
- 運営形態 児童館・児童センターの指定管理者への業務委託

<現状に対する認識>

地域住民のつながりの希薄化や、核家族化が進むなか、より身近な場所で親子が交流し、情報交換できる場を提供することにより、子育て不安の解消等、地域における育児支援の充実が図られていると認識している。
3歳未満児の入園者数の増加、少子化の影響により、利用者数は年々減少傾向にあるが、地域における子育て支援の場として周知をしていくとともに、相談体制の強化、職員の資質向上に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	100,000	110,000	110,000	110,000	110,000
実績値	108,935	99,545	91,352	86,704	
達成度	108.9%	90.5%	83.0%	78.8%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	56,236	57,073	57,071	53,987	57,750
国・県	37,490	38,048	38,046	35,990	38,500
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,746	19,025	19,025	17,997	19,250
人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	1,520	
正規	1,538	0.2	1,510	0.2	
嘱託					
合計コスト +	57,774	58,591	58,581	55,507	57,750
前年度比	-	101.4%	100.0%	94.8%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	子育て支援ネットワークづくり事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て支援ネットワークづくり事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

市内の子育てを支える人材や団体を発掘し、市と協働して子育て支援を行うためのネットワークづくりと研修等を実施することにより、子育て環境を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市内の子育てグループや子育て支援団体、関心のある市民に呼びかけ、研修会・交流会等を通して相互に情報交換するとともに、子育て支援について学習し、子育て支援を行うためのネットワーク化を図り、子育てを支える人材や団体を発掘・育成するもの。

- 研修会の開催 5回
市の子育て支援事業1「子ども子育て安心ルーム」について
市の子育て支援事業2「乳児院の子育て支援」について
市の子育て支援事業3「児童館・児童センター、こころの鈴」について
子育て支援団体の活動報告
視察研修「南郷こどもプラザ、南部保健センター、東部給食センター、教育文化センター」
- 講演会 1回
「反応性愛着障害/愛着の心配」
講師 信州大学教育学部 准教授 水口 崇 氏
- 研修会・視察研修会延べ参加者数 112名
- インターネットサイト構築 「はぐまつ」の管理運営

<現状に対する認識>

子育て支援団体と協働で子育て支援の学習や各団体同士の情報交換を行うことによって、子育てしやすい環境整備が図られていると認識。

子育てグループ、支援団体、個人等を対象としているが、参加者が固定されてきており、研修内容等のマンネリ化もあることから、今後の事業内容について、再検討を進めていく必要があります。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	研修会参加者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	175	175	175	175	175
実績値	54	87	120	112	
達成度	30.9%	49.7%	68.6%	64.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,103	1,035	950	958	990
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	1,103	1,035	950	958	990
人件費(千円)	2,877	人工 1,518	人工 1,510	人工 1,520	人工 0
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510
嘱託	570	0.2			0.2
合計コスト +	3,980	2,553	2,460	2,478	990
前年度比	-	64.1%	96.4%	100.7%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	子育て家庭支援者派遣事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て家庭支援者派遣事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H21~

子育ての援助を受けたい方と援助ができる方が会員になって、有料で子育てのサポートを行い、育児不安の解消や、子育て支援の環境整備をするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

自宅での一時保育や育児に伴う家事援助を希望する利用会員家庭に、市の子育て支援講座を修了した支援会員が訪問し、子育て支援を行う。
また、ひとり親世帯、低所得世帯等に対して利用料の軽減を図るもの。

1 登録会員数 1,394人
 依頼会員(自宅援助を受けたい方) 1,255人
 協力会員(援助を行いたい方:サポーター) 139人

2 延べ利用件数 2,328件(R元実績)

3 子育て支援事業利用料助成金
ひとり親世帯、低所得世帯に対して、サポーター訪問事業利用料の一部を助成するもの。

助成金額は、利用料金の(平日の昼間1時間あたり800円)の1/2。
ただし、一月の上限額はファミリー・サポート・センター事業利用料での助成金と合算し1万円。

令和元年度 助成金交付件数 35件
 補助金交付額 206,440円

<現状に対する認識>

登録者数、利用者数ともに年々増加しており、支援者派遣する形での利用に対する需要が高まっていると認識している。この需要を満たすためには、協力会員の発掘、育成が必要であるため、協力会員の増員に努めるとともに、子どもを預かるための知識等を養成講座で補う。

利用料助成については、ひとり親世帯や低所得世帯で利用しやすい事業となるよう引き続き実施していきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,800	2,700	3,100	3,600	4,200
実績値	1,969	1,612	2,197	2,328	
達成度	109.4%	59.7%	70.9%	64.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	983		1,106		1,255		1,247		1,330	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	983		1,106		1,255		1,247		1,330	
人件費(千円)	3,931	人工	3,903	人工	3,905	人工	3,934	人工	0	人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	4,914		5,009		5,160		5,181		1,330	
前年度比	-		101.9%		103.0%		100.4%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	子育て家庭優待パスポート事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て家庭優待パスポート事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

S63~

子育て家庭の経済的負担軽減を図り、子育て環境を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市内在住で、18歳未満の子どもを育てている世帯に、協賛店で買物割引等の特典が受けられるカードを配布する。
 H18から実施してきた「わいわいパス事業」を、H22から県が実施する「ながの子育て家庭優待パスポート事業」に移行した。
 H28からは全国の協賛店でサービスを受けられる制度に拡大し、第1子妊娠届出者に対象者が拡大された。
 R元年度は、パスポートの更新年あたり、24,000件を郵送した。

ながの子育て家庭優待パスポート
 【配布世帯数:約24,000世帯、協賛店約610店舗】
 多子世帯応援プレミアムパスポート
 【配布世帯:約3,300世帯、協賛店約110店舗】

< 現状に対する認識 >

協賛店も年々増加しており、子育て世帯の経済的負担の軽減につながっている。
 協賛店の拡大については、商工会議所を通じて各企業へPRを行っている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	協賛店舗数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	400	410	420	430	440
実績値	440	540	580	610	
達成度	110.0%	131.7%	138.1%	141.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	587	727	574	844	560
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	587	727	574	844	560
人件費(千円)	855	759	755	760	
人工					
正規	0	759	755	760	
嘱託	855	0	0	0	
合計コスト +	1,442	1,486	1,329	1,604	560
前年度比	-	103.1%	89.4%	120.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	子どもの権利推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	子どもの権利推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

松本市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの権利の普及・啓発や子どもの相談・救済の充実、子どもの意見表明社会参加の場としてまつもと子ども未来委員会の活動など、条例が目指す子どもにやさしいまちづくりの推進を図るもの（H25.4月に条例施行）

< 事業の実施内容及び活動指標（実績値） >

- 子どもにやさしいまちづくり推進計画の進捗管理
子どもにやさしいまちづくり委員会を6回開催し、推進計画に基づく子ども施策等について評価、検証を実施
(自己肯定感の高い子どもの割合80%(令和2年度目標))
- 子どもの相談・救済
子どもの権利相談室「こころの鈴」を周知し、子どもや保護者等からの相談に対応
(延相談件数令和元年度473件)
- 子どもの権利の普及・啓発
子どもの権利学習パンフレットの作成及び配布
市民フォーラムの開催
子どもの権利学習会(出前学習会、ワークショップ等)の開催
小中学校の校内放送
大型店舗内でのポスター展の開催
市政広報番組作成・放映
- 子どもの意見表明と参加の促進
まつもと子ども未来委員会の子どもたち(小学5年～高校3年)による市への政策提言
札幌市・奈良江町、宗像市・福津市との子ども交流事業や全国自治体シンポジウムへの参加

< 現状に対する認識 >

子どもの権利条例によって子ども施策がどのように進展しているか、アンケート調査の実施などを行い、市民委員が評価検証を行った結果を反映し「第2次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)を策定した。今後5年間この計画に基づき、子どもの権利推進事業を行う。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	自己肯定感の高い子どもの割合				
指標の設定理由	条例が目指す、子どもの主体的な成長につながる重要な要素であるため				
目標値	66.00%	69.50%	73.00%	76.50%	80.00%
実績値		未実施	60.70%	未実施	
達成度	0.0%	-	83.2%	-	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	9,508		9,770		12,898		10,355		11,740	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,508		9,770		12,898		10,355		11,740	
人件費(千円)	6,695	人工	6,685	人工	6,725	人工	6,780	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1	2,980	1		
合計コスト +	16,203		16,455		19,623		17,135		11,740	
前年度比	-		101.6%		119.3%		87.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学習・交流・相談スペース運営事業
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学習・交流・相談スペース運営事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~

主にひきこもり状態にある小・中学生等を対象として居場所を提供し、学習のサポートや相談により、ひきこもり状態の改善を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 実施内容	ひきこもり状態にある小・中学生等を対象に、自由に過ごしたり交流したりできる居場所を提供 ボランティアの指導員を募り、通所する子どもたちの学習のサポートを行う。 子どもと親の悩みを聞き、必要に応じて関係各所との連携を図る。 子どもや親に、教育、子育て、子育て支援等の情報提供を行う。
2 開所時間	水曜日・金曜日(毎週) 13時~18時 月曜日(月1回) その他、スポーツ活動の日、学習支援の日などを設定 令和元年度 開設日151日、延べ利用者数1,931人
3 運営形態	業務委託

施設の老朽化・耐震不足及び利用者の増加による狭あい化が問題となっていることから、移転について検討中

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	居場所利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	624	624	624	624	624
実績値	1,940	1,676	1,684	1,931	
達成度	310.9%	268.6%	269.9%	309.5%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,910		3,338		3,280		3,320		3,350	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,910		3,338		3,280		3,320			
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	769	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	769	0.1		
嘱託	0		0		0					
合計コスト +	2,679		4,097		4,035		4,089		3,350	
前年度比	-		152.9%		98.5%		101.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	青少年健全育成事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年健全育成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

青少年が心身ともに健康で健やかに成長するために、家庭・学校・地域社会が三位一体となって青少年健全育成に取り組むもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 青少年の健全育成と非行防止
薬物乱用防止啓発活動の実施(6月22日なぎさライフサイト、8月3日花時計公園)
- 2 市民意識の高揚
青少年健全育成市民大会(12月1日 187名参加)
思春期の子どもたちと向き合うための講座(3月8日実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染予防のため、中止)
- 3 青少年の居場所づくり事業の推進
体育施設 3カ所、学習スペース 3カ所
- 4 青少年の意識の高揚
子どもまつりの開催(5月3日 10,000名参加)
リーダー講習会の開催(7月27日～29日 30名参加)
- 5 メディア・リテラシー講座の開催
市内小中学校 30校 6,249名
- 6 薬物乱用防止啓発講座等の開催
市内小中学校 37校 5,191名

< 現状に対する認識 >

核家族化の進展や、地域における人間関係の希薄化により、青少年が社会生活で必要なことを学ぶ機会や、心豊かで幅広い人間関係を築く機会が減少しています。また、スマートフォンの普及により、インターネット利用を通じた様々な被害に青少年が巻き込まれる事件が多発していることや、ネットいじめ、健康問題といった複雑な課題もあるため、青少年のメディア・リテラシーを高めていくことが必要となっています。急速に進展する変化を適切に指導できる教職員・医師等で構成される団体にメディア・リテラシー講座の講師を依頼し、小中学校での学習に取り組めます。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	青少年の居場所利用者数				
指標の設定理由	居場所の周知がどの程度浸透できているかわかるため				
目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
実績値	4,903	5,563	4,254	4,189	
達成度	98.1%	111.3%	85.1%	83.8%	-
成果指標(指標名)	メディア・リテラシー講座受講者数(児童・生徒)				
指標の設定理由	より多くの子どもに受講されることが目的であるため				
目標値	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
実績値	5,218	6,288	6,849	6,249	
達成度	80.3%	96.7%	105.4%	96.1%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	6,938	7,942	11,966	6,817	6,690
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,938	7,942	11,966	6,817	6,690
人件費(千円)	17,004	16,806	16,740	16,854	
人工					
正規	16,149	15,939	15,855	15,960	
嘱託	855	867	885	894	
合計コスト +	23,942	24,748	28,706	23,671	6,690
前年度比	-	103.4%	116.0%	82.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	青少年健全育成センター運営
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年健全育成センター運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

青少年の健全な育成及び非行防止を図るため、青少年育成センターを設置し、市から委嘱を受けた補導委員が、市街地及び地域での補導活動、青少年に有害な地域環境実態調査を行うもの。有害環境調査は子ども会育成連合会と合同で実施。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 街頭補導活動(S43.4 育成センター設置)
不良行為少年や非行に走りそうな少年を早期に発見して、非行の芽を摘み取り、非行に走らないように正しく導くために、「愛の一声」による補導活動を行うもの
センター補導
午前23回、午後214回、夜間25回 計262回
地域補導
午前11回、午後270回 計281回
延べ545日実施、2,183人活動
- 青少年に有害な地域環境実態調査
年1回、11月に青少年に影響を与えると思われる店舗等の実態調査を行うもの
実施期間
11月1日～11月21日
調査員
148人(補導委員102人、子ども会育成連合会46人、事務局1人)
調査店舗
市内280店舗(うち協力店279店舗)

< 現状に対する認識 >

・町会及び団体推薦の一般補導委員の高齢化が進んでおり、体力的な問題や病気等による年度途中での交代が多くなってきている。また、各町会から推薦の際に苦慮している状況もあることから、今後の担い手づくりが課題。また、近年の子どものあり方から補導活動の見直しも必要。
・令和2年度からの委員の改選時に世帯数・児童数を勘案し補導委員を6名減とした。今後補導回数などについて見直し予定。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	有害環境実態調査協力店舗数				
指標の設定理由	青少年健全育成協力店として登録、地域での見守り活動を推進できるため				
目標値	262	262	262	262	262
実績値	253	240	279	279	
達成度	96.6%	91.6%	106.5%	106.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	10,058	10,280	10,340	9,723	10,550					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,058	10,280	10,340	9,723	10,550					
人件費(千円)	4,786	人工	4,770	人工	4,790	人工	4,828	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	1,710	0.6	1,734	0.6	1,770	0.6	1,788	0.6		
合計コスト +	14,844	15,050	15,130	14,551	10,550					
前年度比	-	101.4%	100.5%	96.2%	-					

事務事業評価票

事務事業名	放課後子ども教室推進事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	放課後子ども教室推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20~

地域の方々の参画を得て、子どもたちと勉強やスポーツ等を実施することで、小学生の放課後の安全・安心な居場所づくりを推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小学校の余裕教室等を利用し、放課後の児童に対し、安全で安心な居場所を提供し、そこで行う様々な体験活動や異学年との交流を通じ、心豊かで健やかに育っていくことを目的としています。

なお、親の就労等で放課後留守家庭となる児童を対象とした、放課後児童健全育成事業と違い、放課後子ども教室は小学校に就学している全児童を対象としています。

1 実施場所

- 源池小放課後子ども教室(源池小学校内)
- 奈川小放課後子ども教室(奈川文化センター夢の森)
- 明善小放課後子ども教室(松原地区町内公民館)
- 安曇小放課後子ども教室(安曇育成館)

2 利用状況

R元延べ利用者数 5,476人

< 現状に対する認識 >

支援員の確保ができず、平成30年度より開明小、四賀小の2教室が休止の状態となっており、休止となっている2教室の再開、新規実施により、実施校の拡大が必要との認識をしています。

事業拡大に向けては、コミュニティスクールと連携し、学校及び地域の協力を得ながら調整進めます。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ利用人数				
指標の設定理由	事業の実績を表すものであるため				
目標値	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
実績値	7,209	6,083	4,446	5,476	
達成度	75.9%	64.0%	46.8%	57.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,830		6,057		5,131		5,600		4,940	
国・県	1,484		1,178		1,076		982		2,770	
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,346		4,879		4,055		4,618		2,170	
人件費(千円)	2,393	人工	2,385	人工	2,395	人工	2,414	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	8,223		8,442		7,526		8,014		4,940	
前年度比	-		102.7%		89.1%		106.5%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金 (子ども会育成連合会及び青少年活動団体への補助事業)
-------	-----------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

社会奉仕活動、自然体験などを通じ社会性を育成するなど、青少年健全育成に資するために団体に補助するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市子ども会育成連合会補助金
各地区の子ども会活動や伝統文化の継承活動など青少年の健全育成事業を推進するために各地区子ども会へ交付
均等割 40,000円×30地区、41,000円×5地区
世帯割 13円×104,450世帯
- 青少年活動事業補助金
青少年団体の活動を援助することにより、団体活動の発展と参加を促進
令和元年度 補助金交付団体数 2団体
- 松本青年の家運営事業補助金(H30年度から実施)
青少年の健全育成施設である松本青年の家の運営団体へ交付
補助金交付団体 一般社団法人松本青年の家
施設修繕補助
宿泊料差額補助

< 現状に対する認識 >

青少年健全育成において、重要な補助金である。今後、補助金の積算根拠(世帯数から子ども数へ)も含めて、引き続き検討し、多様な育成支援の機会を創出する必要がある。子ども会育成連合会は理事会で協議しているが、上位団体(県子連)への負担金が世帯数となっており、県子連の積算根拠が変わらなければ難しい見込み。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,954		2,952		5,468		4,852		5,500	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,954		2,952		5,468		4,852		5,500	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	3,723		3,711		6,223		5,612		5,500	
前年度比	-		99.7%		167.7%		90.2%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	休日保育事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	休日保育事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭を支援することにより、子育て環境を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

休日に、保護者が仕事・病気・冠婚葬祭等のため、家庭で保育できない幼児(市内に居住する利用日現在満1歳から就学前の児童)の保育を行うことで、子育て環境の充実を図るもの。

1 実施日 年末年始を除く日曜・祝日

2 実施時間 午前8時30分から午後5時(8時間以内)

3 実施場所 こどもプラザ(筑摩)

4 利用料金

3歳未満児 4時間以内:1,300円
4~8時間:2,600円
3歳以上児 4時間以内:650円
4~8時間:1,300円

5 延べ利用者数 469人(R元実績)

< 現状に対する認識 >

サービス業等、多様な就労形態に対応するため、日曜日・祝日に保育を行うものであり、必要な事業であると認識しています。

総合評価

B

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	510	550	590	630	660
実績値	513	569	491	469	
達成度	100.6%	100.6%	83.2%	74.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,898	1,787	1,356	1,452	2,040
国・県					
利用者負担金	973	929	817	812	930
その他					
一般財源	925	858	539	640	1,110
人件費(千円)	1,624	1,626	1,640	1,654	
正規	769	759	755	760	
嘱託	855	867	885	894	
合計コスト +	3,522	3,413	2,996	3,106	2,040
前年度比	-	96.9%	87.8%	103.7%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	病児保育事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	病児・病後児保育事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

共働き世帯などの保護者が安心して就労できる子育て環境の充実に目的に、市内在住または市内に勤務している保護者の、生後5カ月から小学3年生までの病中の児童の保育を行うもの

1 実施日 月～金曜(祝日・お盆・年末年始を除く)

2 実施時間 午前8時30分から午後6時

3 実施場所・定員

相澤病院病児保育室ひだまり・4人
 梓川診療所あずさ病児保育室ハイジ・8人
 丸の内病院病児保育施設わかば・10人
 まつもと医療センター病児保育室・6人

4 利用料金

保護者が市内在住
 ア 保育園等に在籍:8時間まで無料、8時間超30分100円
 イ ア以外:4時間以内650円、8時間まで1,300円、超過30分100円
 保護者が市外在住で市内在勤
 ア 4時間以内1,300円、8時間まで2,600円、超過30分200円

5 延利用者数 2,321人(R元実績 4カ所合計)

<現状に対する認識>

女性の就業率向上により、利用者は年々増加しており、保護者が安心して就労するために必要な事業と認識している。

H30年に2施設を開設し、環境整備を実施。今後も引き続き、円滑な事業実施を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延利用者数				
指標の設定理由	事業の評価を表すものであるため				
目標値	1,136	1,136	1,136	1,136	1,136
実績値	1,361	1,473	2,353	2,321	
達成度	119.8%	129.7%	207.1%	204.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	21,088	54,501	36,299	39,360	39,570					
国・県	13,854	35,804	24,198	25,908	26,000					
利用者負担金	306	309	478	498	550					
その他	0	0								
一般財源	6,928	18,388	11,623	12,954	13,020					
人件費(千円)	1,538	人工 1518	人工 1,510	人工 1,520	人工					
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0					
合計コスト +	22,626	56,019	37,809	40,880	39,570					
前年度比	-	247.6%	67.5%	108.1%	-					

事務事業評価票

事務事業名	病後児保育事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	病児・病後児保育事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

共働き世帯などの保護者が安心して就労できる子育て環境の充実を目的に、市内在住または市内に勤務している保護者の、利用日現在満1歳から就学前の病気回復期(病気は治癒している)にある児童の保育を、看護師と保育士が行うもの

1 実施日 月～金曜(祝日・年末年始を除く)

2 実施時間 午前8時から午後6時

3 実施場所 こどもプラザ・南郷こどもプラザ

4 利用料金

保護者が市内在住

ア 保育園等に在籍:8時間まで無料、8時間超30分100円

イ ア以外:4時間以内650円、8時間まで1,300円、超過30分100円

保護者が市外在住で市内在勤

ア 4時間以内1,300円、8時間まで2,600円、超過30分200円

5 延利用者数 219人(R元実績 2カ所合計)

< 現状に対する認識 >

病気が治癒しているとはいえ、体力が低下している子どもの登園等が心配な保護者から一定の需要があり、安心して就労するために必要な事業と認識している。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	243	243	243	243	243
実績値	329	319	223	219	
達成度	135.4%	131.3%	91.8%	90.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	182	172	113	137	190
国・県	108	106	65	84	100
利用者負担金	20	13	15	11	30
その他	0	0			
一般財源	54	53	33	42	60
人件費(千円)	12,938	13,078	13,310	13,440	
正規	1,538	1,518	1,510	1,520	
嘱託	11,400	11,560	11,800	11,920	
合計コスト +	13,120	13,250	13,423	13,577	190
前年度比	-	101.0%	101.3%	101.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	ネイチャリングフェスタイベント事業
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ネイチャリングフェスタイベント事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

「人と自然、ふれあいと感動」を基本テーマに未来を担う子どもたちの心と体の育成、人・自然・環境とふれあい、交流と対話を深めるイベントとして開催するもの(H12~実施)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 期日	令和元年7月14日(日)、15日(月・祝)
2 会場	アルプス公園
3 主催	ネイチャリングフェスタ実行委員会
4 内容	25種類のハンディクラフトや野外体験プログラム(まが玉作り、水引細工、丸太切り、ロープ結びなど) 親子キャンプ 昆虫クイズ 他
5 活動指標	来場者数 21,000人(2日間)

< 現状に対する認識 >

自然や環境にふれあう体験型のイベントとして、毎年2万人以上の来場があり、家族等と一緒に自然に触れあうことで、「心が豊かになった。自然への大切さへの理解が深まった。」等の感想が多くあり、自然を大切にする意識が図られている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	来場者数(2日間)				
指標の設定理由	イベント開催の効果を示すものであるため				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績値	22,000	22,000	22,000	21,000	
達成度	110.0%	110.0%	110.0%	105.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	12,400		12,400		13,180		13,180		13,180	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,400		12,400		13,180		13,180		13,180	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	769	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	769	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	13,169		13,159		13,935		13,949		13,180	
前年度比	-		99.9%		105.9%		100.1%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	安心子育て応援事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	安心子育て応援事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

21~

核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するもの。安心して子育てできる環境を充実させることで、第2子以降の出産に希望を持つことができるようになり、人口の自然増につながることを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 第2子以降の母子手帳交付時に、ファミリー・サポート・センター事業の10時間分無料券を配布し、第2子以降の出産時等の子育ての手助けが必要な時の利用を促すもの
 無料券配布人数 905人(R元実績)
 使用枚数 452枚(R元実績)
- 子育てしやすい環境づくりのために子育てを支援する人材を発掘、育成するもの子どもの病気や事故予防など、子育てに関する内容の「子育てサポーター養成講座」を開催するもの
 子育てサポーター養成講座 全20講座
 開催期間 7月から12月まで
 受講者数 26人(R元実績)うち、23人がサポーターとして登録

< 現状に対する認識 >

地方創生戦略事業の1つとして平成27年度から無料券配布事業を行ってきましたが、配布枚数に対する利用実績が7%と低い状況であるため、令和元年度を持って事業を廃止します。
 子育てサポーター養成講座は、協会会員を増やし、質を向上させるために必要な取組みであるため、継続的に実施し、サポーターの養成に努めます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	配布人数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	-
実績値	1,084	1,059	1,035	905	-
達成度	108.4%	105.9%	103.5%	90.5%	-
成果指標(指標名)	講座受講者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	12	8	33	26	-
達成度	60.0%	40.0%	60.6%	76.9%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	487	428	460	442	470
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	487	420	460	442	470
人件費(千円)	2,108	2,096	2,100	2,116	0
正規	1,538	1,518	1,510	1,520	
嘱託	570	578	590	596	
合計コスト +	2,595	2,524	2,560	2,558	470
前年度比	-	97.3%	101.4%	99.9%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童館整備事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童館整備事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

S41~

児童に健全な遊びを与え、幼児又は児童を個別的、集団的に指導し、児童の健全な育成を図るための児童館・児童センターを、計画的に整備するもの。
安心して子育てできる環境を充実させることで、第2子以降の出産に希望を持つことができるようになり、人口の自然増につながることを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 実施内容	幼児・児童の体調管理、生活環境の向上のために、施設環境の維持管理及び改善を行う。 古い木造4館(元町、蟻ヶ崎、南郷、寿台)の改築を計画的に進める。 木造以外の施設については施設整備計画に基づき小規模改修、大規模改修等を行う。
2 R元事業内容	改築等の整備事業はなし 移転改築された蟻ヶ崎児童館解体工事

< 現状に対する認識 >

築40年を経過している木造児童館3施設(元町・南郷・寿台)について、松本市公共施設管理計画、施設の利用状況等に基づき、他施設との合築、統廃合を含めた総合的な改築計画を検討します。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設整備数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	4	5	6
実績値	3	3	4	4	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,555		88,315		235,827		12,077		205,650	
国・県			19,922		59,292				18,300	
利用者負担金										
その他			45,200		155,500				167,000	
一般財源	6,555		23,193		21,035		12,077		20,350	
人件費(千円)	769	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工	0	人工
正規	769	0.1	3,036	0.4	3,020	0.4	3040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	7,324		91,351		238,847		15,117		205,650	
前年度比	-		1247.3%		261.5%		6.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	児童館管理運営事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

S41~

核家族・共働き家庭が増加する中、児童に健全な遊びを与え、幼児又は少年を個別的、集団的に指導し児童の健全な育成を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市内27館の公設・公営児童館・児童センターの管理・運営を行う。

延べ利用者数

平成30年度 657,180人

令和元年度 639,210人

< 現状に対する認識 >

子ども子育て支援事業計画に基づき、児童に安心・安全な居場所を提供するとともに、多様な体験や遊びを与え、児童の健全な育成を継続的に推進します。

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	0950000
-----	------	----	--------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	児童館延利用者数				
指標の設定理由	利用者数の増加がより多くの児童の健全な育成を図れるため。				
目標値	535,000	535,000	535,000	535,000	535,000
実績値	590,852	639,122	657,180	639,210	
達成度	110.4%	119.5%	122.8%	119.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	363,438	392,222	411,132	490,235	496,100	
国・県	184,562	200,106	211,072	217,950	234,346	
利用者負担金						
その他(売電)	1,318	1,137	782	845	1,520	
一般財源	178,876	192,116	199,278	271,440	260,234	
人件費(千円)	6,152	人工	6,072	人工	6,040	人工
正規	6,152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	369,590	398,294	417,172	496,315	496,100	
前年度比	-	107.8%	104.7%	119.0%	-	

事務事業評価票

事務事業名	児童遊園管理事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童遊園管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

S39~

子どもの安心安全な遊び場を確保するため、児童遊園を管理するもの。
また、地域の子どもの遊び場として、町会が管理する簡易児童遊園の適切な維持管理を促進するため補助金を交付するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 市内に38園ある児童遊園の管理・運営を行う。
- 児童遊園の清掃等、日常的な管理については、32園を地元町会、残りの6園を併設している児童センターの指定管理者へ委託している。
- 児童遊園に設置されている遊具については、毎年、保守点検を行い、改修等を計画的に実施
- 町会が管理する簡易児童遊園の適切な維持管理を担保するため、設置・改修に関する補助金を交付するもの

< 現状に対する認識 >

地域における児童遊園の利用状況等を把握し、今後のあり方を検討するとともに、子どもたちが安心・安全に利用できるよう適正な管理を継続的に行う。

町会設置の簡易児童遊園についても、子どもたちが安心・安全に利用できるよう遊具等の改修等は必要であるため、継続して補助事業を実施

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	10,583	13,383	10,430	10,370	12,270
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,583	13,383	10,430	10,370	12,270
人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	1,520	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
正規	1,538	1,518	1,510	1,520	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	12,121	14,901	11,940	11,890	12,270
前年度比	-	122.9%	80.1%	99.6%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	留守家庭児童対策事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	留守家庭児童対策費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

S63~

核家族・共働き家庭が増加する中、放課後留守家庭児童の安全と健やかな成長に資する居場所の確保を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

両親が共働きなどの事業により、小学校の放課後に留守家庭となる子どもを児童館・児童センター等を利用し、登録制(有料)で預かる事業を実施。

- 1 放課後児童クラブ(公営) 29カ所
登録児童数 平成30年度 3,213人 令和元年度 3,204人
- 2 児童育成クラブ(民営) 12カ所
登録児童数 平成30年度 378人 令和元年度 383人

< 現状に対する認識 >

少子化により児童数は減少していますが、核家族化や両親の共働きにより、放課後の子どもの預り需要は増加傾向にあります。
小学校区によっては、狭隘化の進んでいる施設もあることから、子どもたちの安心、安全を確保するため、施設の増改築や小学校の使用可能な教室等の活用について、検討を進めます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	放課後児童クラブ(公営)延利用者数				
指標の設定理由	利用者の増減が子どもと家庭の支援に直結するため。				
目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績値	3,398	3,519	3,591	3,587	
達成度	113.3%	117.3%	119.7%	119.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	126,050	157,588	149,696	172,828	174,080
国・県					
利用者負担金	83,566	87,746	97,439	89,394	93,210
その他					
一般財源	42,484	69,842	52,257	83,434	80,870
人件費(千円)	30,377	19,077	19,315	22,500	
正規	6,152	6,072	6,040	7,600	
嘱託	24,225	13,005	13,275	14,900	
合計コスト +	156,427	176,665	169,011	195,328	174,080
前年度比	-	112.9%	95.7%	115.6%	-

こども福祉課

課長 青木 宏元

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	自立支援福祉事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自立支援福祉事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害児の日常生活の向上、介護者の負担軽減を図るため、障害児の早期療育、放課後や長期休暇の居場所づくり、身体機能を補完するための用具の交付を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- サービス利用計画作成事業
障害児通所支援利用のための、計画作成を行う。(延べ利用1,236人)
- 補装具費支給事業
身体機能を補完するための用具の交付を行い、日常生活の向上を図る。(支給件数142件)
- 児童発達支援事業
未就学の障害児に、日常生活における基本的な動作の指導等、必要な支援を行う。(延べ利用6,356人)
- 放課後等デイサービス事業
就学中の障害児に、生活能力の向上のために必要な訓練等、必要な支援を行う。(延べ利用35,515人)
- 高額障害児福祉サービス費支給事業
世帯におけるサービス利用者負担額が算定基準額を超える場合、支給を行う。(支給対象30人)
- 保育所等訪問支援事業
専門的支援を要する障害児と、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行う。(延べ利用10人)
- 居宅訪問型児童発達支援
重度の障害児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導等、必要な支援を行う。(R1年度実績なし)

< 現状に対する認識 >

児童発達支援事業・放課後等デイサービスについては、事業所数の増加により、事業費も伸びている。発達障害等の診断を受けて利用する児童が増加しており、今後も利用者数は増加していくと思われる。サービス利用の適否を見極めながら、適正なサービス支給決定に努めたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	234,302	323,156	396,542	438,108	428,320
国・県	159,108	235,883	278,370	313,986	304,860
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,194	87,273	118,172	124,122	123,460
人件費(千円)	18,257	23,059	22,945	23,098	
正規	17,687	2.3	22,770	3	22,800
嘱託	570	0.2	289	0.1	298
人工					
合計コスト +	252,559	346,215	419,487	461,206	428,320
前年度比	-	137.1%	121.2%	109.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

在宅重度障害児等の、日常生活の向上、介護者の負担軽減のため、日常生活の便宜を図るための用具を給付する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	日常生活用具給付等事業 在宅重度障害児等の日常生活の便宜を図るための用具を給付する。 (支給件数605件)
2	給付対象用具 介護・訓練支援用具(3件) 自立生活支援用具(6件) 在宅療養等支援用具(17件) 情報・意思疎通支援用具 排泄管理支援用具(579件) 住宅改修費
3	実施内容 申請受付事務 支給可否判断 支給決定通知送付 給付費支払事務

< 現状に対する認識 >

排泄管理支援用具の給付等、障害児の日常生活に欠かすことができない用具の給付事業となっている。
用具の種類増加や、性能の向上により、対象用具の拡大等の要望が多い事業でもある。品目の見直し等を行いながら、今後も継続して適正に給付を行いたい。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	8,629	7,667	7,189	8,142	8,360	
国・県	4,553	3,929	3,434	3,788	6,270	
利用者負担金						
その他						
一般財源	4,076	3,738	3,755	4,354	2,090	
人件費(千円)	6,238	人工	3,614	人工	6,170	人工
正規	5,383	0.7	3,036	0.4	5,285	0.7
嘱託	855	0.3	578	0.2	885	0.3
合計コスト +	14,867	11,281	13,359	14,356	14,598	
前年度比	-	75.9%	118.4%	107.5%	-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	身体障害者福祉
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	身体障害者福祉費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

心身障害児を持つ家族の介護負担軽減及び経済的負担軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 タクシー利用料金・自動車燃料費助成事業
重度障害児の社会活動の範囲を広げるとともに、その世帯の経済的負担軽減を図るため、タクシー利用料金・自動車燃料費の助成を行う。(支給人数126人)
- 2 心身障害者・児タイムケア事業
障害児が一時的に家庭において介護を受けることができない場合、生活を支援するため事業登録者が介護サービスを提供する。(延べ利用719人)
- 3 ストマ用補装具自己負担額助成事業
重度障害児のストマ、紙おむつ購入の際の自己負担を助成することにより、経済的負担を軽減する。(支給件数214件)
- 4 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業
補装具支給制度対象外の難聴児に対し、補聴器購入の助成を行うことにより、補聴器の早期装用を促し、聴力向上を図る。(申請件数11件)

< 現状に対する認識 >

制度対象外の児童への助成や、交通費の助成等、必要ではあるが、支援が不足している部分への助成事業となっている。今後も、障害児を介護する家庭の介護負担軽減、経済的負担軽減のため、事業を継続したい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,671		9,574		10,611		7,800		9,330	
国・県	3,130		3,475		4,171		2,785		3,590	
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,541		6,099		6,440		5,015		5,740	
人件費(千円)	4,130	人工	7,228	人工	4,070	人工	4,098	人工		人工
正規	3,845	0.5	6,072	0.8	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	285	0.1	1,156	0.4	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	12,801		16,802		14,681		11,898		13,460	
前年度比	-		131.3%		87.4%		81.0%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	知的障害者福祉
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	知的障害者福祉費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害児通園施設を利用する障害児の利用者負担を軽減し、障害児の早期療育、子育て支援の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 障害児通園施設療育支援事業
就学前児童が2人以上いる世帯で、1人目が保育所等に通所し、2人目が児童発達支援事業を利用する児童に対し、利用者負担の補助を行う。
(支給対象者6人)
- 心身障害者・児通所通園等推進事業
県内対象施設に入所・通所している障害児の保護者に対し、自動車利用の対象交通費助成を行う。
(支給対象者10人)

< 現状に対する認識 >

施設入所、通所に係る保護者の経済的負担を軽減し、障害のある児童が適切な支援を十分に受けられるよう、継続して事業を行いたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	313		285		211		163		280	
国・県	81		89		73		36		140	
利用者負担金										
その他										
一般財源	232		196		138		127		140	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	1,851		1,803		1,721		1,683		280	
前年度比	-		97.4%		95.5%		97.8%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金(日中活動の場整備促進事業)
-------	-------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害児の日中活動の場を提供する施設運営の安定性と充実を図り、施設整備を促進するため、施設に関する賃借料を補助するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 日中活動の場整備促進事業 障害児通所支援事業を行う団体に対し、民間から用地を賃借している場合の賃借料の補助 (補助対象施設 1施設)
--

< 現状に対する認識 >

障害児通所施設を運営する民間団体の、安定的な運営のため必要不可欠な支援策となっている。
対象施設は障害児支援の中核を担う団体であるため、今後も継続して行いたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	600		600		600		600		600	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	600		600		600		600		600	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	1,369		1,359		1,355		1,360		600	
前年度比	-		99.3%		99.7%		100.4%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	福祉医療費給付事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉医療費給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

乳幼児、児童、障害者、母子家庭の母子、父母のない児童及び父子家庭の父子の健康保持と福祉の増進を図るため、乳幼児等が療養の給付又は療養費の支給等を受けたときに、福祉医療費給付金を支給するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

福祉医療対象者のうち、中学校卒業までの子どもの医療費は1カ月1医療機関窓口負担500円(現物給付方式)
 また、障害者支援医療及びひとり親家庭等支援医療の16歳以上の方については、医療機関に支払った保険適用医療費自己負担の額から高額療養費、付加給付金及び受給者負担金500円を除いた額を毎月13日に支給(償還払い方式)

- 子育て支援医療(乳幼児等)
0歳~中学校3年生
令和元年度認定受給交付者数30,705人 給付件数 343,394件
- 障害者支援医療(20歳未満)
手帳の所有者及び特別児童扶養手当認定者
令和元年度認定受給交付者数 242人 給付件数 3,856件
- ひとり親家庭支援医療
18歳未満児童を扶養する配偶者のいない母又は父及び遺児
令和元年度認定受給交付者数 4,567人 給付件数 47,464件
- 実施内容
新規・変更・喪失及び医療費の申請受付(制度の案内含む)
医療費のデータチェック及び医療費の入力
振込通知の発送

< 現状に対する認識 >

・平成30年8月から15歳までの子どもの医療費を現物給付化したことに伴い、一部負担500円はあるものの、初期医療の負担が減ったため受診しやすくなった。
 ・対象年齢を高校3年生まで拡大及び窓口完全無料化の要望が多いが、無料化について福祉医療制度が持続可能なものにしていくためには、窓口負担は必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	816,645		825,238		931,221		825,988		806,800	
国・県	232,376		237,168		258,645		206,602		233,280	
利用者負担金										
その他	1,116		1,717		2,850		1,892		1,850	
一般財源	583,153		586,353		669,726		617,494		571,670	
人件費(千円)	21,080	人工	20,960	人工	21,000	人工	21,160	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2	5,960	2		
合計コスト +	837,725		846,198		952,221		847,148		806,800	
前年度比	-		101.0%		112.5%		89.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	福祉手当給付事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉手当給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

特別児童扶養手当等の支給に関する法律第1条、精神又は身体に障害を有する児童について特別児童扶養手当を支給し、精神又は身体に重度の障害を有する児童に障害児福祉手当を支給するとともに、精神又は身体に著しく重度の障害を有する者に特別障害者手当を支給することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

特別児童扶養手当等の支給に関する法律第17条の規定に基づき、支給するもの。

- 支給要件
20歳未満で、日常生活で常時介護を必要とする在宅の重度障害者
- 令和元年度の支給月額
14,790円
- 支給月
2月、5月、8月、11月
- 令和元年度支給実績
107人
- 実施内容
新規、変更、喪失申請手続き
手当の制度、申請に関する案内
再認定者への通知及び再認定請求の受付
所得状況届の発送及び受付、登録、審査
手当支給
嘱託医師へ認定審査依頼
- 制度の周知
療育手帳、身障手帳申請の際に担当者への取り次ぎを依頼
医師診断書の作成依頼
広報特集ページ、ホームページ

< 現状に対する認識 >

・日常生活において常時介護を必要とする在宅の重度障害児の負担軽減を図るもの
・制度の対象となり得る児童の保護者に対し、案内漏れが無いよう周知の徹底を図る。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	19,469	17,193	17,419	18,298	18,460					
国・県	14,601	12,895	12,987	13,878	13,840					
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,868	4,298	4,432	4,420	4,620					
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	20,238	17,952	18,174	19,058	18,460					
前年度比	-	88.7%	101.2%	104.9%	-					

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	障害児福祉
-------	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害児福祉費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

放課後や休日等、障害児に対し適切な遊びと生活の場を提供する。
 障害のある子どもを主な対象に、子どもの成長発達を促すためにおもちゃの貸出しを行なうもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 障害児放課後等交流促進事業
 放課後や休日に、障害児(義務教育対象児)に適切な遊びや生活の場を提供するため、事業をNPO法人に委託する。
- 障害のある子どもを主な対象に、子どもの成長発達を促すためにおもちゃの貸出しを行なうもの。(運営は、ボランティアグループで行われている)
 南部おもちゃ図書館(総合社会福祉センター1階)
 第4土曜日 午後1時~3時
 (延べ利用者数606人)
 北部おもちゃ図書館(北部福祉複合施設ふくふくらいず内)
 第1火曜日 午前10時~午後3時
 第3土曜日 午後1時~3時
 (延べ利用者数773人)

< 現状に対する認識 >

- 障害児放課後等交流促進事業については県事業廃止に伴い、令和元年度以降は事業廃止。補助対象事業所は、障害児通所支援事業へ移行。
- 安定して利用者はいるが、ボランティア団体での運営のため、団体運営の担い手不足が課題。出張での貸出も行っているため、団体活動を通して活動のPRを行い、ボランティアの確保を行いたい。家庭では購入できないおもちゃを通して、障害の有無にかかわらず児童の交流が行われているため、事業継続としたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,809	2,809	2,810	360	360					
国・県	1,089	1,195	1,220	0	0					
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,720	1,614	1,590	360	360					
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,578	3,568	3,565	1,120	360					
前年度比	-	99.7%	99.9%	31.4%	-					

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	交通及び災害遺児等福祉金
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通及び災害遺児等福祉金給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

18歳未満の児童で交通事故又は自然災害、労働災害等により父又は母を失った遺児等の福祉の増進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市交通及び災害遺児等福祉金条例に基づき、交通事故又は災害事故により、市内に住所を有していた父又は母が死亡、又は障害者となった満18歳に満たない児童に、交通及び災害遺児等福祉金を支給し、福祉の増進を図るものです。

1 福祉金支給額

申請時

世帯一時金 児童1人 55,000円

年額

児童1人 60,000円(所得が一定額以上の場合、50,000円)

小中学校入学等一時金(4月1日時点、満6歳12歳の児童)

児童1人 100,000円

2 令和元年度支給実績

申請時世帯一時金 1世帯児童3人

年額 20人

入学等一時金 5人

3 令和元年度寄付受入額 850,000円

基金残高 106,549,598円

寄付受入額が少ない場合は基金から繰入し支出

< 現状に対する認識 >

・交通事故等で父または母を失った児童等の福祉の増進を図るため、今後も継続して適正に給付を行っていく。

・制度を知らない市民のため、関係部署と連携し周知をしている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	1,775	1,320	1,655	1,865	1,620					
国・県										
利用者負担金										
その他	1,775	1,320	1,655	1,865	1,620					
一般財源										
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,544		2,079		2,410		2,625			1,620
前年度比	-		81.7%		115.9%		108.9%			-

事務事業評価票

事務事業名	児童福祉事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童福祉事務費

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~32

- ・関係機関の連携により、要保護児童の早期発見、対応を推進する。
- ・研修等へ参加し、職員の専門性・資質向上を図り、指導体制の充実を図る。
- ・肢体不自由児者の福祉向上と社会参加の推進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

虐待や非行などの要保護児童等に関する問題について、関係機関等の連携により組織的に対応し、要保護児童等の早期発見及び適切な支援を行う。

- 1 要保護児童対策地域協議会の開催
児童福祉法に位置づけられた23関係機関による協議会で、代表者が出席する会議に加え、実務者が出席する会議を年8回開催
- 2 児童虐待防止研修会への参加
- 3 乳児院との連携による養育支援事業【令和元年度新規事業】
- 4 肢体不自由児の保護者を中心とした団体活動による、福祉増進と社会参加推進

< 現状に対する認識 >

全国の児童相談所に寄せられる児童虐待相談件数は毎年増加傾向にあり、要保護児童やその家庭への介入、支援の必要性が高まっている。効果的な支援を行うために地域や関係機関と連携し、子どもの置かれている環境を的確に捉え、児童虐待の発生防止や早期発見、早期対応に努めている。
また、障害児の社会参加と福祉向上に向けて、活動団体への継続的な補助が必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	952		990		490		1,070		5,870	
国・県	70		300		180		640		3,000	
利用者負担金										
その他										
一般財源	882		690		310		430		2,870	
人件費(千円)	21,279	人工	20,093	人工	20,115	人工	20,266	人工		人工
正規	16,149	2.1	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	5,130	1.8	4,913	1.7	5,015	1.7	5,066	1.7		
合計コスト +	22,231		21,083		20,605		21,336		5,870	
前年度比	-		94.8%		97.7%		103.5%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	ひとり親家庭等相談事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ひとり親家庭等相談事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~2

ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、必要な助言や指導を行うことにより、世帯の自立の促進を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 自立支援教育訓練給付金事業
ひとり親家庭の親が、職業能力の習得のため厚生労働省指定の講座を受講した場合に、受講費用の一部を給付する。(国庫補助率3/4) 4件
- 高等職業訓練促進費事業
ひとり親家庭の親が、就職に有利な資格を取得するために養成機関(1年以上のカリキュラム)で修学する場合に、その期間の生活費を給付する。(国庫補助率3/4) 10件
- ひとり親家庭福祉会
市内在住の母子・父子・寡婦が会員となり、会員相互の情報交換等を図るために、定例会や親子参加の交流事業を開催する。
- バスハイク事業
ひとり親家庭の親子間の親睦を深めるために、日帰り旅行を実施する。(ひとり親家庭福祉会へ委託) 参加者91名
- 母子父子寡婦福祉資金貸付金利子補給事業
母子及び父子並びに寡婦福祉法又は生活福祉資金貸付制度要綱により資金の貸付けを受けた借受金の償還をする場合の利子を補填する。 0件

< 現状に対する認識 >

ひとり親家庭の親は、非正規という不安定な雇用状態で就労している場合も多いため、専門的な資格取得のための修学や生活資金の貸付など生活基盤を安定させる支援が必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	11,238	15,224	14,777	10,854	18,015
国・県	9,800	13,125	9,990	8,459	12,915
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,438	2,099	4,787	2,395	5,100
人件費(千円)	4,388	5,926	5,970	8,106	
正規	1,538	0.2	3,036	0.4	
嘱託	2,850	1	2,890	1	
人工					
合計コスト +	15,626	21,150	20,747	18,960	18,015
前年度比	-	135.4%	98.1%	91.4%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	養育医療費給付事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	養育医療費給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

母子保健法(昭和40年法律第141号)第20条の規定に基づく未熟児養育医療の給付をするもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

出生時の体重が2000g以下またはその他の理由により、指定養育医療機関の医師が入院を必要と認めた場合、その医療費の一部を公費で負担するもの。

- 令和元年度実績 67人 給付件数 167件
- 受給者負担金 500円(医療機関窓口負担なし。市から納付書を送付) 費用徴収額(月額)から福祉医療費給付額を引いた額
- 公費負担金 松本市福祉医療費給付事業
- 実施内容
 - (1)申請書の受付
 - (2)審査・認定及び関係通知の発送
 - (3)受給者負担金の請求と収入確認
 - (4)健康保険への医療費・手数料の支払い

< 現状に対する認識 >

未熟児は、死亡率がきわめて高く、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切な処置を講じ、こどもの健やかな成長を支援している。
医療費を公費で一部負担することにより、未熟児の健康保持、保護者の負担軽減の一助となっている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	21,750	18,469	17,728	18,806	19,100	
国・県	12,405	13,050	8,878	10,672	11,260	
利用者負担金						
その他	3,983	3,833	3,397	3,850	4,080	
一般財源	5,362	1,586	5,453	4,284	3,760	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	24,057	20,746	19,993	21,086	19,100	
前年度比	-	86.2%	96.4%	105.5%	-	

事務事業評価票

事務事業名	育成医療費給付事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	育成医療費給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 第1条
 障害児が個人としての尊厳にふさわしい日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要な給付、支援を行い、障害児の福祉の増進を図ることを目的とするもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

18歳未満で身体に障害があるお子さんや、今ある疾患を放置すると将来障害が残ると認められるお子さんが、手術などの確実な効果が期待できる治療を行う場合に、治療費の一部を公費で負担するもの。

- 令和元年度実績 38人 給付件数 294件
- 受給者負担金 500円(医療機関窓口負担 500円)
- 公費負担金 松本市福祉医療費給付事業
- 実施内容
 - (1)申請書の受付
 - (2)嘱託医への審査依頼
 - (3)認定及び関係通知の発送
 - (4)健康保険への医療費・手数料の支払い

< 現状に対する認識 >

身体上障害のある子どもや、今ある疾患を放置すると将来障害が残ると認められる子どもの手術などの治療にかかる医療費を公費で一部負担することにより、子どもの健やかな成長を支援している。

現在、申請者が減少傾向にある。考えられる原因としては、福祉医療受給者証を持っていれば15歳までは500円の負担で医療を受けられるため、育成医療申請の必要性が薄れているのではと思われる。県より「公費優先」との指導もあるので、引き続きPRは行っていきたい。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	11,127	10,233	8,087	2,857	7,860	
国・県	8,454	8,436	7,956	6,065	5,890	
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,673	1,797	131	-3,208	1,970	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3
嘱託	0	0	0	0	0	0
合計コスト +	13,434	12,510	10,352	5,137	7,860	
前年度比	-	93.1%	82.7%	49.6%	-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	子どもの未来応援事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	子どもの未来応援事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~2

子どもの貧困対策として、子どもの権利に関する条例に基づき、生まれた環境に左右されず子どもたちが自らの未来を選択できる力を養うことを目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

子どもたちを取り巻く成育環境が悪化し、子どもの権利が侵害される恐れのある状態を「子どもの貧困」と捉え、こうした状況にも屈しないよう、子どもたちの自己肯定感の向上を図る。

1 庁内推進会議

松本市子どもの未来応援指針に基づき、部局横断による効果的な事業展開の推進を目的に開催する。

2 子どもの居場所づくり推進事業実施

子どもの孤食や欠食を防ぎ、食事提供、学習支援及び世代間交流を行う地域の居場所拡大を目指して、以下の内容で実施した。

交付金の交付(9団体 11会場分)

交付団体との連絡会議等開催

運営状況等に関する情報共有、事業のあり方について意見交換

事業報告書の作成

< 現状に対する認識 >

子どもの居場所づくりに係る交付金事業は、令和元年度から、実施回数の上限の増加や長期休暇中のみの実施も対象とする旨制度を見直した。

食事提供の負担が大きいため、事業対象ではない学習支援のみを実施している団体もあることから、地域住民や支援団体などが活用しやすい事業内容を検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	自分のことが好きだとする子どもの割合				
指標の設定理由	自己肯定感を図る指標のため				
目標値	62.2	66.65	71.1	75.55	80
実績値	62.2		60.7		
達成度	100.0%	-	85.4%	-	-
成果指標(指標名)	まわりの人から大切にされていると感じている子どもの割合				
指標の設定理由	自己肯定感を図る指標のため				
目標値	82.7	84.53	86.35	88.18	90
実績値	82.7		82.6		
達成度	100.0%	-	95.7%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		799		2,551		2,605		3,380	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		799		2,551		2,605		3,380	
人件費(千円)	3,845	人工	2,277	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	3,845	0.5	2,277	0.3	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	3,845		3,076		4,061		4,125		3,380	
前年度比	-		80.0%		132.0%		101.6%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	こんにちは赤ちゃん事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

乳児家庭と地域をつなぎ乳児家庭の孤立を防ぐため、子育て支援に関する必要な情報提供を行う。また、支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供をすることで地域で子どもが健やかに育つ環境整備を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(事業内容)

1 生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を各地区の民生・児童委員や主任児童委員が訪問する。
 育児に関する悩みを聞き、子育てガイドブックにより子育て支援に関する情報提供を行う
 母子の心身の状況や養育環境をは把握し、支援が必要な家庭に対して適切なサービスへ結び付ける。
 食の大切さ・木のぬくもりをつたえるため、ファーストスプーンとして手作りの木製スプーンを贈っています。

(令和元年度実績)

訪問対象児 1,826人
 訪問実施数 1,662人
 訪問率 91.0%

<現状に対する認識>

生後4カ月までの乳児のいる家庭に対して家庭訪問を実施し、産後うつなどのリスク把握に努めている。里帰り出産などで訪問、面接ができなかった家庭については、保健センターと連携し、4カ月、10カ月健診において育児状況の把握を行っている。支援が必要であると判断された家庭に対しては、保健師による訪問などの支援を実施している。
 事業開始から9年が経過し、活動への理解がすすんでいる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	子育て支援が必要な家庭に対して支援の実施割合				
指標の設定理由	子育て支援が必要な家庭に対して支援の状況を把握できるため				
目標値	80	85	90	95	95
実績値	100	100	100	100	
達成度	125.0%	117.6%	111.1%	105.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	2,866	2,587	3,503	3,337	2,900	
国・県	955	861	1,193	1,116	960	
利用者負担金						
その他						
一般財源	1,911	1,726	2,310	2,221	1,940	
人件費(千円)	1,909	人工	1,915	人工	1,935	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4	1,180	0.4
合計コスト +	4,775	4,502	5,438	5,289	2,900	
前年度比	-	94.3%	120.8%	97.3%	-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	あるぷキッズ支援事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	あるぷキッズ支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

発達障害及び発達に心配のある子どもとその保護者並びに発達障害児と毎日関わる支援者を、総合的に継続して支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 相談窓口
発達障害及び発達に関する相談を、専門職員が対応
- 巡回支援
子どもたちが毎日生活する保育園・幼稚園・学校等での困難に対し、専門支援チームで巡回し、対応方法等についての助言を行う。
令和元年度実績 延べ 174施設、1,020人
- あるぷキッズサポート手帳の配付
子どもの情報や経過等を記入し、保護者と支援者が情報を共有し、共通理解のうえで適切な支援に役立てるもの
令和元年度実績 13冊
- あそびの教室
未就園の親子に対し、生活体験やあそびを通して発達を促したり、親子関係を豊かにするための教室
令和元年度実績 延べ 357回、3,253人
- 保護者支援(ペアレントトレーニング)
発達障害等で子どもの対応に困難を抱えている保護者が、子どもの行動を適切に理解し、その対処方法を具体的に学び、親子関係を良好にするための講座
令和元年度実績 延べ23回、141人

< 現状に対する認識 >

・あそびの教室、巡回支援、ペアレントトレーニング等の参加者の満足度はどれも高く、事業の成果はあるものと認識
・相談件数が増え多様化する中、職員のスキルアップと関係機関とのさらなる連携を図り支援にあたりたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	「あそびの教室」参加者の満足度				
指標の設定理由	第10次基本計画基本施策2-2-2 進捗管理指標				
目標値	97.00%	97.00%	97.50%	97.50%	98.00%
実績値	98.40%	95.00%	95.90%	98.9%	
達成度	101.4%	97.9%	98.4%	101.4%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	15,436	16,860	17,000	13,057	26,750
国・県				70	70
利用者負担金	245	210	350	210	350
その他					
一般財源	15,191	16,650	16,650	12,777	26,330
人件費(千円)	75,861	72,601	72,745	72,420	
正規	53,061	52,371	52,095	45,600	
嘱託	22,800	20,230	20,650	26,820	
合計コスト +	91,297	89,461	89,745	85,477	26,750
前年度比	-	98.0%	100.3%	95.2%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	留守家庭児童対策
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	留守家庭児童対策費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~32

家庭での養育が困難な状態の児童を一時的に預かることにより、保護者の育児不安、疲れの軽減を図る。また、児童に安全に生活環境を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

児童養護施設との委託契約により家庭での養育が困難の状態の児童を最長7泊8日の期間預かるもの。

子育て支援ショートステイ事業

1 委託先

- 松本赤十字乳児院(原則として2歳未満の児童)
- 松本児童園(原則として2歳以上18歳以下の児童)

2 委託料(1泊あたり)

	2歳児未満	2歳児以上
生活保護世帯	@10,700	@5,500
非課税世帯	@ 9,600	@4,500
その他世帯	@ 5,350	@2,750

< 現状に対する認識 >

平成29年度までは核家族化の進行や、家庭養育力の低下に伴い、利用者数は増加傾向にあったが、平成30年度以降は認定外保育園、民間託児サービスの拡大などに伴い、減少に転じている。(H29 249人、H30 117人、R1 39人)

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	2,930	3,060	1,500	540	1,530
国・県	1,660	1,984	1,000	360	1,020
利用者負担金	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	1,270	1,076	500	180	510
人件費(千円)	769	759	755	760	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	3,699	3,819	2,255	1,300	1,530
前年度比	-	103.2%	59.0%	57.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	児童虐待防止啓発事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童虐待防止啓発事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

児童虐待の発生防止に向け、市民に向けた啓発活動を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

児童虐待防止について広く周知し、住民一人ひとりが周囲の子どもたちに関心を持つよう意識の向上を図るとともに、子育てに悩む保護者等からの相談に対応するもの

- オレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止啓発活動)の実施
 広報まつもとへの記事掲載
 懸垂幕、横断幕の掲示
 タスキリレーへの参加と啓発物品配布
 映画上映会、虐待対応現場職員研修会の開催
- 松本マラソンにおける啓発活動の実施
- 要保護児童対策地域協議会研修会の実施検討

< 現状に対する認識 >

児童虐待事案が発生すると一時的には関心が高まるが、やがて家族の問題として収束してしまう傾向がある。児童虐待の発生防止や早期対応に向けては、家庭や学校、地域など社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られるよう、継続的に情報発信を行い、協働して取組みを行うことが重要であると認識している。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	790	270	270	70	210
国・県	246	180	180	40	140
利用者負担金					
その他					
一般財源	544	90	90	30	70
人件費(千円)	2,108	2,096	2,100	2,116	
正規	1,538	1,518	1,510	1,520	
嘱託	570	578	590	596	
合計コスト +	2,898	2,366	2,370	2,186	210
前年度比	-	81.6%	100.2%	92.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	児童扶養手当給付事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童扶養手当給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と、自立の促進に寄与すると共に児童福祉の増進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

次のいずれかに該当する18歳(誕生日後の3月31日までの間を含む)の子、又は20歳未満の障害児を監護する父母等に支給するもの

- ・父母が婚姻解消
- ・父又は母が死亡又は生死不明の児童
- ・父又は母が重度の障害の状態にある児童
- ・父又は母が引き続き1年以上拘禁、又は遺棄されている児童
- ・父又は母が裁判所からのDV保護命令を受けた児童
- ・母が婚姻によらないで懐胎した児童

1 令和元年度支給額

1人目 42,910円(一部支給の場合42,900円~10,120円)

2人目 10,140円~5,070円を加算

3人目以降 6,080円~3,040円を加算

2 令和元年度実績 1,869人

3 事業内容

- 新規、変更、喪失申請受付
- 審査、認定等に伴う通知の発送
- 制度の案内
- 現況届の発送及び受付
- 支給事務

4 補助金 国 1/3

< 現状に対する認識 >

・父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と、自立の促進に寄与している。
 ・平成30年度まで4月、8月、12月に前月分までの4カ月分を支給、令和元年11月支給から、年6回(2カ月分)奇数月に制度改正を行った。
 ・令和元年度分事業費は支払月の変更に伴い115カ月支給(通常12カ月)の支給となったため増加した。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	946,067	953,525	927,266	1,150,519	926,510
国・県	315,731	317,841	309,070	381,879	308,680
利用者負担金					
その他					
一般財源	630,336	635,684	618,196	768,640	617,830
人件費(千円)	13,390	13,370	13,450	13,560	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	5,700	5,780	5,900	5,960	
合計コスト +	959,457	966,895	940,716	1,164,079	926,510
前年度比	-	100.8%	97.3%	123.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	児童手当給付事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童手当給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童手当法第一条 子ども・子育て支援の適切な実施を図るため、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

中学校卒業まで(15歳の誕生日後の最初の3月31日まで)の児童を養育している方へ支給する。

- 支給額(児童手当の1人当たり月額)
3歳未満:一律15,000円
3歳以上小学校修了前:10,000円(第3子以降は15,000円)
中学生:一律10,000円
- 児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上の場合、
「特例給付」として月額一律5,000円を支給
- 支給時期
毎年6月、10月、2月にそれぞれの前月分までの手当を支給
- 令和元年度実績(2月定期支払分)
受給者数 18,500人 対象児童 29,500人
- 実施内容
新規・変更・消滅届の申請受付
制度の案内
審査、認定及び関係通知の発送
現況届の通知及び審査
支給事務

< 現状に対する認識 >

・児童を養育している家庭の生活の安定に寄与している。
・関係課と連携し支給漏れが無いように案内及び周知を行っている。

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	4,014,164	3,936,105	3,868,253	3,779,743	3,707,370
国・県	3,402,223	3,336,536	3,277,283	3,198,607	3,145,780
利用者負担金					
その他					
一般財源	611,941	599,569	590,970	581,136	561,590
人件費(千円)	13,616	13,516	13,520	13,620	
正規	10,766	10,626	10,570	10,640	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
人工	1.4	1.4	1.4	1.4	
人工	1	1	1	1	
合計コスト +	4,027,780	3,949,621	3,881,773	3,793,363	3,707,370
前年度比	-	98.1%	98.3%	97.7%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	助産施設委託事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	助産施設委託事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~2

児童福祉法の規定により、経済的な理由から出産費用の捻出に困窮している妊婦に対して出産費用を一部公費負担することにより、出産前後の福祉の増進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

保健上必要があるにもかかわらず経済的に困窮しており、病院等施設における分娩介助料、胎盤処理料及び新生児介補料を負担できない妊婦について、助産施設に入所させ、出産費用の一部を公費で負担するもの。

1 対象者

生活保護受給世帯(A階層)

当該年度の市民税非課税世帯(B階層)

B階層は徴収金が課せられるが、単身世帯、母子世帯又は障害者世帯の徴収金は0円となる。

A階層及びB階層を除いて、出産育児一時金を404,000円以上受給した者は利用できない。

2 委託先

信州大学医学部付属病院、松本市立病院

3 令和元年度実績

6件

国庫負担率 支弁総額×1/2、県費負担率 支弁総額×1/4

< 現状に対する認識 >

生活保護制度は他法他施策を優先することから、被保護者の利用が多い。事業活用においては、当事者からの申請だけでなく、こども福祉課地区担当者及び健康づくり課保健師が介入し、事業案内をした事案もある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	3,682	1,001	1,683	2,678	2,770	
国・県	2,822	647	1,441	2,008	1,950	
利用者負担金	160	320	80		160	
その他						
一般財源	700	34	242	670	660	
人件費(千円)	2,194	人工	1,518	人工	1,510	人工
正規	769	0.1	1,518	0.2	1,510	0.2
嘱託	1,425	0.5	0	0	0	0
合計コスト +	5,876	2,519	3,193	4,774	2,770	
前年度比	-	42.9%	126.8%	149.5%	-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子生活支援施設管理運営
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	母子生活支援施設管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

28~2

母子の安全な生活と子どもの健全な育成ができる環境を保障し、生活全般に渡る相談や支援により自立した生活を目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 対象者	DV、児童虐待、夫からの遺棄などにより、夫婦と一緒に住むことができない事情のある女子で、養育すべき児童がいる世帯 DVを受けている妊婦
2 支援内容	入所初期の支援 DVや虐待被害からの回避と心身状態の回復の支援 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援 金銭管理を含めた主体的な日常生活の構築の支援 就労支援 退所後の相談支援
3 令和元年度実績	入所世帯数 8世帯(県内7世帯、県外1世帯) 退所世帯数 4世帯(県内3世帯、県外1世帯) 一時的保護 1世帯(県内1世帯)
国庫負担率 支弁総額×1/2、県費負担率 支弁総額×1/4	

<現状に対する認識>

措置元の福祉事務所と連携のうえ、母子の様々な課題の解決や自立した生活へ向けての支援により、世帯は退所となる。
DVや虐待を受けた母子、障害のある母子、外国籍の母子が増加していることから、カウンセラーなど専門性のある職員の配置が求められる。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	6,935	7,607	8,115	7,941	8,053
国・県	4,133	3,729	844	940	3,160
利用者負担金	58	0	0	0	20
その他	11,176	13,537	14,501	13,758	13,150
一般財源	-8,432	-9,659	-7,230	-6,757	-8,277
人件費(千円)	12,938	13,078	13,310	14,200	
正規	1,538	1,518	1,510	2,280	
嘱託	11,400	11,560	11,800	11,920	
合計コスト +	19,873	20,685	21,425	22,141	8,053
前年度比	-	104.1%	103.6%	103.3%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子広域措置
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子広域措置費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~2

配偶者などからの暴力の被害者である母子が、加害者の追跡から逃れ安心した生活を送れるよう、県内外の施設において保護し、世帯の自立を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 対象 配偶者などの暴力から逃れるために避難が必要な母子 (18歳までの児童とその母親)
2 DV相談状況 40件
3 令和元年度実績 0件
国庫負担率 支弁総額 × 1/2、県費負担率 支弁総額 × 1/4

< 現状に対する認識 >

県女性相談センター、児童相談所及び警察などの関係機関と連携した対応をしている。
相談窓口の周知と相談につなげる体制整備など、相談しやすい体制づくりの充実が必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	1,765	358	0	360					
国・県		1,323	268		255					
利用者負担金					20					
その他										
一般財源	0	442	90	0	85					
人件費(千円)	3,732	人工	2,963	人工	2,985	人工	3,075	人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2	1,550	0.1		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,475	0.5	1,525	0.2		
合計コスト +	3,732		4,728		3,343		3,075		360	
前年度比	-		126.7%		70.7%		92.0%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	特別児童扶養手当進達事務
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別児童扶養手当進達事務

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特別児童扶養手当等の支給に関する法律第1条、精神又は身体に障害を有する児童について特別児童扶養手当を支給し、精神又は身体に重度の障害を有する児童に障害児福祉手当を支給するとともに、精神又は身体に著しく重度の障害を有する者に特別障害者手当を支給することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

療育手帳A1、A2、B1程度、身体障害者手帳1～4級程度に該当する20歳未満の障害児を家庭で監護、養育する父母等に支給する特別児童扶養手当の事務手続きを行い、県に進達するもの

- 令和元年度支給額
1級該当児 52,200円
2級該当児 34,770円
- 令和元年度支給実績 779人
- 実施内容
新規、変更、喪失申請手続き
手当の制度、申請に関する案内
再認定者への通知及び受付
所得状況届の通知及び審査
県保健福祉事務所との連絡調整

・障害を持つ児童を養育する保護者の生活の安定と福祉の増進に寄与している。
・関係課と連携して周知及び担当者への取次ぎを依頼し、制度の案内をしている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	0	0	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	3,076		3,036		3,020		3,040		0	
前年度比	-		98.7%		99.5%		100.7%		-	

保育課

課長 田原 茂

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	幼児教育無償化事業 (認可外保育施設等に係る利用 給付事業)
-------	--------------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て支援施設等利用給付事業費(民生費)

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元~

R元. 10月から開始した幼児教育・保育無償化に伴い、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設等の利用者に対して給付を行うものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容
預かり保育利用者への給付
ア 月額給付額
利用児童数(1) × 11,300円(無償化上限額)
1 幼稚園型一時預かり事業の利用者 (公立幼稚園及び私立認定こども園で実施)
認可外保育施設等の利用者への給付
ア 月額給付額
・3歳未満児 利用児童数(2) × 42,000円(無償化上限額)
・3歳以上児 利用児童数(3) × 37,000円(無償化上限額)
2 認可外保育施設等に在籍している児童の数
3 保育園、幼稚園、認定こども園に在籍していない児童の数

< 現状に対する認識 >

幼児教育の負担軽減を図ることで少子化対策に繋がる。
現状では、幼稚園及び認可外保育施設を利用する児童の内、約35%の児童が施設利用料の無償化の対象となったものです。
本事業は、「保育認定」が受けられる児童が当該施設を利用した場合に、利用料を無償化する制度となっていますが、本制度開始前の段階では無償化の対象者の把握が出来なかったことから、結果として目標値と実績値の乖離が生じたものです。

< 指標の達成状況 >

総合評価

D

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				1,704	5,136
実績値				595	
達成度				34.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				17,384	80,420
国・県				13,830	60,960
利用者負担金					
その他					
一般財源				3,554	19,460
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				1,818	0.2
嘱託				298	0.1
合計コスト +	0	0	0	19,202	80,420
前年度比	-	-	-	#DIV/0!	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	私立保育所等運営事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	私立保育所等運営事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

私立保育所等の運営に係る経費を支弁することで、安定的な運営に資するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

児童福祉法第45条の最低基準を維持するための経費に対する補助

- 事業費
 - 一般生活費
 - 給食材料費、保育材料費、教材費、光熱水費
- 人件費
 - 本俸
 - 手当
 - 社会保険料
 - 非常勤職員雇用費
- 管理費
 - 旅費
 - 庁費(備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水費、会議費)
 - 職員研修費
 - 被服費
 - 職員健康管理費
 - 保健衛生費
 - 補修費

< 現状に対する認識 >

私立保育園及び認定こども園に通う児童の保育環境及び保育士の処遇改善等の向上が図れる。
また、私立保育園も公立保育園と同じ水準で保育事業が実施できるとともに、保育士の安定的な確保が可能となる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	私立保育所月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,056	1,069	1,077	1,084	1,092
実績値	1,062	1,116	1,137	1,234	
達成度	100.6%	104.4%	105.6%	113.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	868,453	1,075,004	1,138,723	1,306,974	2,058,310
国・県	480,651	578,596	623,084	831,400	1,435,800
利用者負担金	156,426	148,313	146,902	101,673	49,090
その他					
一般財源	231,376	348,095	368,737	373,901	573,420
人件費(千円)	7,690	7,590	11,325	11,400	
正規	7,690	7,590	11,325	11,400	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	876,143	1,082,594	1,150,048	1,318,374	2,058,310
前年度比	-	123.6%	106.2%	114.6%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	児童福祉事務 (実費徴収に係る補足給付事業)
-------	---------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童福祉事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

低所得で生計が困難である保護者の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園等に通う場合に、保護者が保育料の他に支払う実費徴収に対して、その一部を補助するものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容	対象保護者 生活保護世帯 対象範囲(ア~ウを満たすもの) ア 園で利用する通常必要とされる日用品に係る経費 イ 市内の保育園・幼稚園・認定こども園等に共通するもの(限定列举) ウ 同一園児に対し、同一年度内に1回購入するもの
2 補助額	対象経費×10/10 (月額2,500円程度、年度合計5,000円まで)
3 活動指標	申請者数 11人(H30実績値)

< 現状に対する認識 >

対象世帯への制度周知と継続的な支援により、すべての子どもの健やかな成長を支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ申請数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	60	36	36	36	36
実績値	28	23	40	31	
達成度	46.7%	63.9%	111.1%	86.1%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	46	49	72	50	90
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	46	49	72	50	90
人件費(千円)	1,538	人工 578	人工 590	人工 596	人工
正規	1,538	0.2	0	0	
嘱託	0	578	0.2	596	0.2
合計コスト +	1,584	627	662	646	90
前年度比	-	39.6%	105.6%	97.6%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	補助金 (私立保育所等への補助事業)
-------	-----------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

私立保育園等の経営の円滑を図り、児童福祉の向上に資するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

私立保育園等の保育事業に係る経費に対する補助を行うもの

- 補助事業
 - 私立保育園等経営安定事業
 - 認可外保育施設児童対策事業
 - 私立保育所等障害児保育事業
 - 私立保育所等児童健康管理事業
 - 私立保育所等乳児保育促進事業
 - 私立保育所等一時保育事業
 - 私立保育所等施設整備事業
 - 保護者会文化事業
 - 園児送迎用駐車場確保事業
 - 私立保育所等延長保育事業
 - 私立保育園等1歳児保育支援事業
 - 保育対策総合支援事業
 - 地域型保育事業
 - 副食費負担軽減事業
- 補助対象施設 (H30年度実績)
 - 私立保育園 5園
 - 私立幼稚園 1園(幼稚園10園のうち、新制度移行園1園が対象)
 - 私立認定こども園 6園
 - 認可外保育施設 9施設

< 現状に対する認識 >

私立保育園に通う児童の保育環境の向上が図れる。
また、私立保育園も公立保育園と同じ基準で保育事業を実施することが可能となる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	私立保育所月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,056	1,069	1,077	1,084	1,092
実績値	1,062	1,116	1,137	1,234	
達成度	100.6%	104.4%	105.6%	113.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	196,855	228,416	265,243	375,632	370,550					
国・県	36,666	42,494	44,220	78,786	65,820					
利用者負担金										
その他										
一般財源	160,189	185,922	221,023	296,846	304,730					
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	5,320	人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	5,320	0.7		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	202,238	233,729	270,528	380,952	370,550					
前年度比	-	115.6%	115.7%	140.8%	-					

事務事業評価票

事務事業名	保育所管理運営事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	保育所管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公立保育園の運営の維持・向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

公立保育園の運営に関する事務費及び管理費

- 事業内容
 - 保育園入園事務
 - 保育園人事管理事務
 - 保育料等の滞納整理事務
 - 保育園職員の研修事務
 - 保育園給食管理事務
 - 保育園児童の健康管理事務

2 活動指標

公立保育園月平均児童数 4,438人(H30年度実績)

< 現状に対する認識 >

未満児の増加に伴う、保育士の確保対策に努めるとともに、保育園の安定的な運営を図るもの。

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公立保育園月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	4,518	4,536	4,568	4,600	4,632
実績値	4,565	4,563	4,489	4,307	
達成度	101.0%	100.6%	98.3%	93.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,068,495	1,134,671	1,162,884	1,208,214	1,008,550
国・県					
利用者負担金	974,623	1,001,098	998,552	634,847	274,210
その他					
一般財源	93,872	133,573	164,332	573,367	734,340
人件費(千円)	3,158,390	3,196,340	3,215,600	3,238,080	
正規	2,160,890	2,193,510	2,295,200	2,356,000	
嘱託	997,500	1,002,830	920,400	882,080	
人工	281	289	304	310	
人工	350	347	312	296	
合計コスト +	4,226,885	4,331,011	4,378,484	4,446,294	1,008,550
前年度比	-	102.5%	101.1%	101.5%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	乳幼児情操教育事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
				松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	乳幼児情操教育事業費(民生費)

<事業の狙い>

事業計画年度

~

乳幼児期から豊かな情操、感性を育むため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

本市の恵まれた音楽環境を活用し、乳幼児期から音楽を聴いたり、歌ったり、楽しむという環境のなかで、豊かな情操、感性を育むため取り組むもの。

1 事業概要

- 生演奏による鑑賞(才能研究会)
- 各園独自で音楽演奏会を実施
- 各園でクラシック音楽に親しむ環境づくりを実施

2 活動指標

事業開催園数 43園(H30実績値)

<現状に対する認識>

保育園児の豊かな情操、感性を育むため、今後も継続して取り組むもの

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業開催園数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	43	43	43	42	42
実績値	43	43	43	42	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	事業開催件数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	43	43	43	42	42
実績値	43	43	43	42	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,209		1,270		1,226		1,128		1,260	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,209		1,270		1,226		1,128		1,260	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,594		1,650		1,604		1,508		1,260	
前年度比	-		103.5%		97.2%		94.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	保育園業務ICT化事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	保育園業務ICT化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元～

保育士の業務負担軽減を図るため、働きやすい環境を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

これまで手作業で行っていた登降園の記録や日誌の作成といった業務がICTにより行える保育園専用の業務システムを、2年計画で全市立保育園に導入するもの

- 事業概要
 - ネットワーク環境構築
 - ICTシステムの導入
 - 操作端末の導入
 - 令和元年と2年に分けて、全公立保育園に導入(各園にタブレット8台を導入)
- 省力化する保育園の業務
 - 登降園管理、延長保育時間管理、写真管理
 - 指導計画、日誌、保育要録作成、おたより等の作成支援
 - メール等による保護者への伝達機能など

< 現状に対する認識 >

保育士の処遇改善の向上が図れ、保育士不足の解消に繋がる。

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	保育士数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	499	495	464	462	462
実績値	470	452	433	433	
達成度	94.2%	91.3%	93.3%	93.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				8,516	40,250
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				8,516	40,250
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				2,280	0.3
嘱託				0	
合計コスト +	0	0	0	10,796	40,250
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

事務事業名	負担金 (保育園に係る各種団体負担金)
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

保育事業に係る各種団体への負担金

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 各種負担金
長野県保育連盟負担金
県内の全市町村が加入し、保育内容の充実、保育従事者の資質向上、情報・連絡、功労者の顕彰、各種研究大会の開催等の事業を実施する。
ア 全保協負担金@5,000円/1園
イ 県社協負担金@500円/1園、@100円/園児割
幼年教育研究会負担金
市内95校の幼稚園・保育園・小学校が参加して実施する研究集会、調査活動、講演会、新入学児童の情報共有等の事業を実施する。
ア 市立保育園@800円/1園
日本スポーツ振興センター災害共済掛金負担金
体育の振興と児童の健康の保持増進を図るため、保育園等の児童の災害等の給付を行うもの
ア @365円(保護者負担120円)/1人(要保護児童は@55円)
会議・研修等負担金
公立保育園運営に係る会議・研修等の負担金

< 現状に対する認識 >

公立保育園に係る各種団体へ負担し、引続き保育園運営の向上を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公立保育園月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	4,518	4,536	4,568	4,600	4,632
実績値	4,565	4,563	4,489	4,307	
達成度	101.0%	100.6%	98.3%	93.6%	-
成果指標(指標名)	幼年教育研究会参加施設数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	43	43	43	42	42
実績値	43	43	43	42	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	2,647	2,631	2,631	2,334	2,630
国・県					
利用者負担金					
その他	608	611	547	530	530
一般財源	2,039	2,020	2,084	1,804	2,100
人件費(千円)	385	380	378	380	
正規	385	0.05	380	0.05	380
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	3,032	3,011	3,009	2,714	2,630
前年度比	-	99.3%	99.9%	90.2%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	保育園園庭芝生化事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	保育園園庭芝生化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H24 ~

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

園児が心身ともに健やか・安全に育成される環境の整備を図るため、山間地を除く園の園庭一部芝生化事業を下記のとおり行う。

- 1 芝生化部分は、運動会トラック内部、約150㎡程度とする。
- 2 園での維持管理は、芝刈り機による週1・2回程度の作業、草むしりを行う。
- 3 専門的な維持管理は、委託業者にて行う。

< 現状に対する認識 >

園庭の一部を芝生化する事で、園児が外で遊ぶ頻度が増し運動能力向上につながる。未整備2園については、今後、園舎の改築に合わせて実施していくもの

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	芝生化実施率(箇所数)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	90.0%	95.0%	95.0%	95.0%	97.5%
実績値	90.0%	95.0%	95.0%	95.0%	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	12,680		12,833		12,312		12,540		12,540	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,680		12,833		12,312		12,540		12,540	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	13,449		13,592		13,067		13,300		12,540	
前年度比	-		101.1%		96.1%		101.8%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	保育園・幼稚園エアコン設置事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保育園・幼稚園エアコン設置事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30～H45

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

子どもの体調管理及び生活環境の向上のため、全保育園及び幼稚園を対象として、既にエアコン設置済みの3歳未満児室及び一時保育室に加え、3歳以上児室及び保健室としての機能を有する事務室にエアコンを設置するもの

1 事業内容

保育園39園及び幼稚園3園の3歳以上児室及び事務室にエアコンを設置するもの

平成30年から3ヵ年で全園の契約を実施するもの(設計、施工及び維持保守を一括発注するもの)

設置工事実施後からリース料金が発生する

リース期間は13年間とするもの

保育環境の改善を図ることで園児に対し、見守りなどの体調管理を行う上で保育士の負担軽減を図ることができ、充実した保育サービスを提供することができる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	3歳以上児室及び事務室のエアコン設置済み保育園・幼稚園数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				14	28
実績値				14	
達成度				100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	0	7,704	22,650					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源				7,704	22,650					
人件費(千円)	0	人工	0	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	0		0		3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0	0	3,775	11,504	22,650					
前年度比	-	#DIV/0!	#DIV/0!	304.7%	-					

事務事業評価票

事務事業名	島内保育園園舎増築事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	島内保育園園舎増築費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30～H32

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

次代の社会を担う子どもが健やかに育ち、充実した保育を受ける環境整備を図り、増加する未満児の受け入れ需要に対応する施設整備を図るため、用地取得を行い既存園舎に未満児棟を増築するもの

- 1 建設規模 0・1歳児24人 48人、2歳児24人 48人
 - 2 増築棟
 - ア 敷地面積 約1,153.39㎡(用地購入面積)
 - イ 延床面積 約325㎡
 - ウ 構造 鉄骨造平屋建て
 - 3 既存施設
 - ア 敷地面積 約3,931㎡
 - イ 延床面積 約1,114㎡
 - ウ 構造 鉄筋コンクリート造平屋建て(S63建設)
 - エ 定員 228人
- 未満児棟増築に伴い改修

増加する未満児の受け入れ需要に対応するため、現在の保育園に隣接した土地を購入し、未満児棟を増築することにより、待機児童対策を図り、さらに保育環境の充実を図るもの

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業実施率(全体事業費)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				17.5%	100.0%
実績値				15.3%	
達成度				87.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)				45,065	252,680	
国・県						
利用者負担金						
その他				42,800	228,800	
一般財源				2,265	23,880	
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工	
正規			2,265	0.3	2,280	0.3
嘱託			0	0		
合計コスト +	0	0	2,265	47,345	252,680	
前年度比	-	-	-	2090.3%	-	

事務事業評価票

事務事業名	波田中央保育園改築事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	波田中央保育園改築事業費

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H30~H32
--------	---------

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

老朽化が著しい波田中央保育園を現地改築し、待機児童対策として一時預かり室を整備するとともに、保育園に隣接する波田児童センターの狭隘化の解消と併せて、老朽化が著しい波田放課後児童クラブを移転し、保育園と放課後児童クラブの機能を持つ複合施設を建築するもの

- 建設規模 保育園120人規模、放課後児童クラブ100人規模(改造分)
- 敷地面積 約6,961㎡
- 延床面積 約1,393㎡(保育園973㎡、放課後児童クラブ420㎡)
- 構造 鉄骨造2階建て
- 既存施設
 保育園 : S49建築、木造平屋建て、延床面積 720.9㎡、定員 118人
 児童センター: H16建築、鉄骨造平屋建て、延床面積 441.0㎡
 児童クラブ : S39建築、木造平屋建て、延床面積 535.0㎡

昭和47年に建設され、敷地が狭隘で園舎の老朽化が進んでいるため、施設整備方針に基づき計画的に整備をするもの。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業実施率(全体事業費)					
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため					
目標値				2.2%	10.8%	96.0%
実績値				1.8%	10.5%	
達成度				81.8%	97.2%	-
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)			7,128	57,590	536,050	
国・県						
利用者負担金						
その他			6,400	29,000	446,600	
一般財源			728	28,590	89,450	
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工	
正規			3,020	0.4	3,040	0.4
嘱託			0	0		
合計コスト +	0	0	10,148	60,630	536,050	
前年度比	-	-	-	597.5%	-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	幼児教育無償化事業 (私立幼稚園等に係る利用給付事業)
-------	--------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て支援施設等利用給付事業費(教育費)

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元~

R元：10月から開始した幼児教育・保育無償化に伴い、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園及び国立幼稚園の利用者に対して給付を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容
私立幼稚園(新制度未移行園)利用者への給付
ア 月額給付額
利用児童数 × 25,700円(無償化上限額)
国立大学付属幼稚園利用者への給付
ア 月額給付額
利用児童数 × 8,700円(無償化上限額)

< 現状に対する認識 >

幼児教育の負担軽減を図ることで少子化対策に繋がる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				8,490	8,412
実績値				8,345	
達成度				98.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				200,160	198,450
国・県				159,039	150,440
利用者負担金					
その他					
一般財源				41,121	48,010
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				1,520	0.2
嘱託				298	0.1
合計コスト +				201,978	198,450
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	私立幼稚園補足給付事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	私立幼稚園補足給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元~

R元. 10月から開始した幼児教育・保育無償化に伴い、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園及び国立幼稚園において、低所得世帯が負担する副食費について給付を行うものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容
 私立幼稚園(新制度未移行園)及び国立幼稚園の利用者のうち低所得世帯(市民税所得割額77,100円以下の世帯)が負担する副食費について、補足給付するもの

月額給付額
 利用児童数 × 4,500円(上限額)

< 現状に対する認識 >

幼児教育の負担軽減を図ることで少子化対策に繋がる。

< 指標の達成状況 > 総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				936	864
実績値				943	
達成度				100.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				2,238	3,890
国・県				1,480	2,580
利用者負担金					
その他					
一般財源				758	1,310
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				1,520	0.2
嘱託				298	0.1
合計コスト +				4,056	3,890
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

事務事業名	一般管理(幼稚園管理運営事業)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	一般管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公立幼稚園の運営の維持・向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

公立幼稚園の運営に関する事務費及び管理費

- 1 事業内容
- 幼稚園入園事務
 - 幼稚園人事管理事務
 - 保育料等の滞納整理事務
 - 幼稚園職員の研修事務
 - 幼稚園給食管理事務
 - 幼稚園児童の健康管理事務

2 活動指標

公立幼稚園月平均児童数 215人(H30年度実績)

< 現状に対する認識 >

幼稚園の安定的な運営に努めるもの。

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公立幼稚園月平均園児数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	217	210	210	210	210
実績値	203	212	215	191	
達成度	93.5%	101.0%	102.4%	91.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	22,882	29,948	27,251	27,714	40,090
国・県					
利用者負担金	20,592	21,719	21,910	9,778	
その他					
一般財源	2,290	8,229	5,341	17,936	40,090
人件費(千円)	152,400	123,950	116,800	113,100	
正規	115,350	83,490	75,500	68,400	
嘱託	37,050	40,460	41,300	44,700	
合計コスト +	175,282	153,898	144,051	140,814	40,090
前年度比	-	87.8%	93.6%	97.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	トライやる・スクール事業(幼稚園)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやる・スクール事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特色ある幼稚園づくりの一環として、人間性豊かな園児の育成と活力ある幼稚園を創造し、地域住民・未就園児との交流活動や地域に密着した幼稚園を目指すもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容	茶道教室、子育て相談、サッカー教室、陶芸教室、地域・未就園児交流
2 活動指標	実施園 3園(H30年度実績)

< 現状に対する認識 >

各幼稚園ごとの取組みや地域とのかかわりにより、園児の豊かな人間性の育成に繋がる。

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実施園				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	292		303		305		297		310	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	292		303		305		297		310	
人件費(千円)	231	人工	228	人工	227	人工	228	人工		人工
正規	231	0.03	228	0.03	227	0.03	228	0.03		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	523		531		532		525		310	
前年度比	-		101.5%		100.2%		98.8%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	幼稚園乳幼児情操教育事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
				松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	乳幼児情操教育事業費(教育費)

<事業の狙い>

事業計画年度

~

乳幼児期から豊かな情操、感性を育む

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

本市の恵まれた音楽環境を活用し、乳幼児期から音楽を聴いたり、歌ったり、楽しむという環境のなかで、豊かな情操、感性を育むため取り組むもの。

1 事業概要

- 生演奏による鑑賞(才能研究会)
- 各園独自で音楽演奏会を実施
- 各園でクラシック音楽に親しむ環境づくりを実施

2 活動指標

事業開催園数 3園(H30実績値)

<現状に対する認識>

幼稚園児の豊かな情操、感性を育むもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業開催園数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	事業開催件数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	178		57		90		170		180	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	178		57		90		170		180	
人件費(千円)	385	人工	145	人工	148	人工	149	人工		人工
正規	385	0.05	0		0		0			
嘱託	0		145	0.05	148	0.05	149	0.05		
合計コスト +	563		202		238		319		180	
前年度比	-		35.8%		117.9%		134.3%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金 (幼稚園に係る各種団体負担金)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

幼稚園事業に係る各種団体への負担金

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 各種負担金
国公立幼稚園長会負担金
県内の全国公立幼稚園が加入し、幼児教育内容の充実、教育従事者の資質向上、情報・連絡、各種研究大会の開催等の事業を実施
ア 国負担金@4,000円/1園、@35円×園児数
イ 県負担金@3,000円/1園、@3,000円/学級数
県幼稚園教育研究協議会負担金
県内8園の国公立幼稚園が参加して実施する研究協議会に係る講師謝礼、教材費等の経費として
ア 市立幼稚園@10,000円/1園
松本市幼年教育研究会負担金
松本市内101校の幼稚園・保育園・小学校が参加する松本市幼年教育研究会の会費を負担
ア 市立幼稚園@4,000円/1園
日本スポーツ振興センター災害共済掛金負担金
体育の振興と児童の健康の保持増進を図るため、幼稚園等の児童の災害等の給付を行うもの @285円(保護者負担90円)/1人
防火管理協会負担金
防火管理協会の会費負担金
会議・研修等負担金
公立幼稚園運営に係る会議・研修等の負担金

<現状に対する認識>

公立幼稚園に係る各種団体へ負担し、幼稚園運営の向上を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	参加施設数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	147		169		147		169		210	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	147		169		147		169		210	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	532		549		525		549		210	
前年度比	-		103.2%		95.6%		104.7%		-	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	補助金 (私立幼稚園等への補助事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

私立幼稚園の経営の安定を図り幼児教育の振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 補助事業
私立幼稚園等運営費
幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に対しての補助
1園につき年額700,000円以内、園児1人につき年額27,000円以内
私立幼稚園就園奨励費
私立幼稚園の設置者が行う保育料等の減免に対し、助成することで幼児教育の振興に資するもの
10分の10以内(国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱第3条第3項の規定による額を限度とする。)
R元.10から、幼児教育・保育無償化に伴い事業廃止
私立幼稚園建設費
私立幼稚園の新築、増築又は改築、定員増となる増改築の初度調弁費に要する経費に対し助成をすることで、幼児の処遇の向上を図るもの
事業費から国交付金その他の特定財源を控除した額の3分の2以内の額又は事業費の3分の1以内の額

<現状に対する認識>

私立幼稚園の経営が安定し保護者の経費負担が抑えられる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	私立幼稚園月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,950	1,870	1,870	1,870	1,870
実績値	1,874	1,841	1,654	1,740	
達成度	96.1%	98.4%	88.4%	93.0%	-
成果指標(指標名)	就園奨励費交付対象者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,179	1,142	1,043	1,030	0
実績値	1,174	1,086	1,024		
達成度	99.6%	95.1%	98.2%	-	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年2年度
事業費(千円)	338,922	199,934	203,950	274,750	58,850
国・県	128,187	45,604	48,098	50,412	
利用者負担金					
その他					
一般財源	210,735	154,330	155,852	224,338	58,850
人件費(千円)	3,845	3,795	3,775	3,800	
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,800
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	342,767	203,729	207,725	278,550	58,850
前年度比	-	59.4%	102.0%	134.1%	-

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	児童生徒保健管理 (幼稚園児童の健康管理事務)
-------	----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童生徒保健管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

公立幼稚園児の安全、衛生を管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容	保健指導、感染症関係業務、障害児相談、障害児入所審査委員会、障害児巡回指導、各種健康診断
2 活動指標	公立幼稚園園児数 215人(H30)

<現状に対する認識>

園児の園生活の安全、衛生を管理し、適正な環境を保つことができる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公立幼稚園月平均園児数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	217	210	210	210	210
実績値	203	212	215	191	
達成度	93.5%	101.0%	102.4%	91.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	388		544		446		476		350	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	388		544		446		476		350	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工	0	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2	0	
嘱託	0		0		0		0		0	
合計コスト +	1,926		2,062		1,956		1,996		350	
前年度比	-		107.1%		94.9%		102.0%		-	